

# 住み慣れた地域で安心して暮らす

## 高齢者

### 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

認知症になっても、安心して暮らし続けることができるよう、「本人の尊厳の確保」「家族負担の軽減」「地域の理解の促進」を3つの柱に、認知症の人と家族を支援するさまざまな取り組みを進めています。

#### 認知症の人と家族の支援

早期に気付く

#### 1. 認知症診断費用を全額無料に

認知症（若年性も含む）診断費用を全額助成します。また、認知症と診断されたらタクシー券（6000円分）またはGPSの基本料金1年間無料のサービスも。

支援につなぐ

#### 2. サポート給付金の支給

認知症と診断を受け、在宅で生活している人にサポート給付金として2万円を支給します。

継続的に支援

#### 3. 認知症手帳の発行 (あかしオレンジ手帳)

支援サービスの紹介や相談窓口を掲載した手帳を発行します。

一冊に必要な  
情報と記録を



明石市独自

オレンジサポーター制度  
(認知症サポーター)

地域で支える

認知症と認知症の人を正しく理解し、地域や職場で応援。より専門的に学び地域活動を行うシルバー・ゴールドサポーターも。

オレンジピアサポーター  
(認知症の人が活動)

認知症の人がつながり、支え合い、当事者自身がより生き生きと暮らすための活動を応援します。



詳しくは  
こちらから



オレンジリングレンジャー  
(小学生発案!)

#### 補聴器の購入費用の助成

聴力が低下し、生活に支障が生じている高齢者に補聴器の購入費用の一部を助成します。

対象/医師が必要と認めた65歳以上の人  
(所得制限なし)

助成額/上限2万円



交通事故から命を守る/

#### 運転免許返して安心プロジェクト

高齢者の自主的な免許返納を応援し、交通事故の未然防止に取り組んでいます。※申請要件あり

対象/運転免許を返納した65歳以上の市民

返納した人に ICOCA3000円分  
(デポジット500円含む)  
または  
図書カード3000円分

勤めた人にも 図書カード1000円分



#### 食を通じた見守りを/ 「みんなの給食」全中学校区で

月1回程度開催し、食事のほか口の健康に関する体操なども行います。運営は地元のボランティア団体などが有償で行っています。

みんなに会うのが  
楽しみです



#### フレイル予防

ふれあいの里を拠点にフレイルサポーターの養成やフレイルチェック会を開催中。

市民との共創で  
取り組みが  
広がっています!



NEW マンガとコラムでよくわかるお財布事情

### みんなの財政白書あかし



表紙イメージ(素案から)

何にどれくらいお金を  
使っているの?

将来の負担は  
大丈夫?



明石市の財政状況や課題について、分かりやすく伝える「財政白書」を3月末に策定します。検討会やタウンミーティング、ワークショップなどで多くの方の意見を聞き、「みんなで」作成を進めてきました。



さまざまな立場の人と対話を重ねてきました

### 本のまち明石

公立図書館や文化施設、学校図書館、こども夢文庫、私設のブックスポット、書店など本に関わるすべての人と一緒に共創で本のまちづくりを進めていきます。

#### 本とつながる

いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち

#### 本からつながる

本から人とつながり、知りたいことややりたいことに会えるまち

「本のまち明石」の具体的な方向性を示す本のまちビジョンの策定も進めています。



市内3館目として  
新しくオープン

### 二見図書館

地域の居場所、交流の場所も兼ねた  
地域に身近な図書館へ



イトーヨーカドー明石店内に4月に開館

### LGBTQ+/SOGIE

(性的少数者)

(性のあり方)

ありのままがあたりまえのまちへ

#### パートナーシップ・ファミリーシップ制度

LGBTQ+などのカップルを、生活を共にするパートナーとして自治体が認定する「パートナーシップ制度」が全国に広がっています。

〈明石市の制度の特徴〉

- LGBTQ+に限らず男女の事実婚カップルも利用可
- 親子などの近親者も届出できる



LGBTQ+の支援や性の多様性の理解促進を担当する専門職員を採用。パートナーシップ制度の運用や専門相談などの支援に取り組んでいます。



明石にじいろ階段(明石駅南)